2022～2023 年度 2730 地区スローガン
『知力を高め　未来に繋げ　多様性のあるロータリークラブの実現に』

国際ロータリー第2730地区
都城西ロータリークラブ 週報
2022～2023年度 クラブテーマ『心をひとつに楽しもう』

第２１７２回　令和４年１１月３０日
都城西ロータリークラブ
創立1976年3月10日
URL：http://miyakonojo.sakura.ne.jp
会 長　中原 八重子　幹 事　東 淑恵
例会場:毎週水曜日 ホテル中山荘　TEL 0986-23-3666
事務局:メインホテル4F　TEL 0986-25-0834
E-Mail：rc2730@lily.ocn.ne.jp　FAX 0986-25-0618

●点鐘

●合唱　　手に手つないで

●ゲスト　　陸上自衛隊都城駐屯地
第 43 普通科連隊長兼都城駐屯地司令
谷　雅和　様

●ビジター　　都城北 RC～　田ノ上素世　氏

□会長の時間　　中原八重子（代理）内田建太郎

みなさん，こんにちは。

何故か中原会長から会長の代わりの時間をするよう指名されましたので，本日は私からお話をさせていただきます。

皆さんもご覧になっていると思いますが，今，サッカーのワールドカップが開催されています。日本はドイツには勝ちましたが，コスタリカには負けてしまいました。私は，ホテルに帰ってドイツ対日本の試合をテレビで観戦していたのですが，その日お酒を飲んでいたせいか，後半６５分くらいで寝てしまいました。翌朝目が覚めて，ネットニュースで日本が逆転勝ちをしたのを知りました。世紀の瞬間を見逃してしまいました。

さて，ワールドカップのような大きい大会があった後は，理事が賄賂をもらった等の不正が発覚するということがよくあります。日本でも，今，東京オリンピックをめぐって不祥事が取りざたされています。電通や博報堂で働いている友人に聞いてみると，「役員ではないから大丈夫。」とか，「部署が違うからあまり関係ない。」とか言っていました。しかし，そのＬＩＮＥグループの他の友人らから，「うちの会社の不祥事が発覚したときは…」とか「うちの会社の粉飾決算がばれた時は…」などのコメントが入っていました。

このようなことがどうして起きるのかと考えた時，私は，昨今言われているコンプライアンスに対する認識の甘さがあると思いました。コンプライアンスとは，comply という英語の名詞形で，comply とは，「従う」とか「応える」という意味です。では，何に従ったり，応じたりしないといけないのか。コンプライアンスとは法令遵守とよく訳されますが，守るのは法令だけで良いというわけではないと思います。法令はしょせん人間が作ったもので，その裏には，道徳や倫理というものがあります。コンプライアンスには道徳や倫理を守るということも含まれています。そして，そうすることで，それぞれが社会から求められていることに応えるということです。

このことは，ロータリーの奉仕の精神にもつながるのではないでしょうか。私たちがコンプライアンスを守ることは，社会から求められている倫理や道徳を守るということですので，奉仕をするということは，社会がロータリーに求められていることに応じることになるのではないかと思っています。　以上，会長の代わりの時間でした。

□幹事報告　　東　　淑恵

□地区　他クラブ　他団体　報告

●山ノ内ガバナー事務所

①　メルボルン国際大会参加について
２０２３年５月２７日～３１日
メルボルン（オーストラリア）開催

・地区手配の参加旅行を利用して国際大会に参加を希望される方は、１２月９日（金）までに山ノ内ガバナー事務所へご回答を頂きます様お願いします。

② 海岸美化プロジェクトⅡ「海岸清掃」
事前説明会（ZOOM）12/14（水）18:30～20:00
12/9 締切　各クラブへチラシ配付

□クラブ報告

●明日 12/1（木）次年度理事役員候補者指名委員会
18:30～　中山荘
●12/7（水）1 月定例理事会
●12/14（水）３RC４RC4 役会
中山荘　エメラルド　（都城西 RC 担当）
●各案内をお送りしてます。
出欠を必ずお送り下さい。
12 月例会予定表・年末家族会・４RC 合同新年例会

□出 席 報 告

会員数	44 名	
出席免除者数	6 名	
出席数	25 名	
出席率	65.79%	
前々回修正出席率	11/16	71.05%
前回修正出席率	11/23	休会
届出有	吉原(司) 長友 穴井 里 福永 森山 小田 柳田 盛田 山下 三坂 藤岡 川畑	
MU 会員 11/20 地区青少年交換選考会	前田	
要 MU 会員(11/23)	祝日週の為　休会	
MU 無会員(11/16)	吉原(司) 長友 穴井 里　宮原 福永 平川 森山 吉元 馬渡 小田 柳田	

□本日のプログラム

【自衛隊連隊長をお迎えして】

※別紙に掲載しております。

□ＳＡＡ報告

●ニコニコ BOX●

小坂泰一郎…谷連隊長様 本日はすばらしい卓話ありがとうございました。また 5 月 21 日の地区大会では音楽部のお手伝いで大会を盛り上げて頂きました。本当にありがとうございました。

椿松　豊治…私事ですがエージシュート 100 回記念ゴルフコンペと祝賀会が終わりました。吉田さん馬渡さんに大変お世話になりました。

吉田　努…**椿**松さんおめでとうございました。元気で長生きして下さい。素晴らしい商品も頂きました。

山村　正一…谷連隊長、本日はお忙しい中、卓話をありがとうございました。

●ロータリー財団●

木下マリセル…ロータリー財団へ

●米山記念奨学会●

前田　吉基…谷雅和連隊長 貴重な卓話を頂きましてありがとうございました。
娘が宅建に合格したので安心しました。

大西　和博…谷司令、貴重なお話し有難うございました。

田ノ上素世…本日はお世話になります。

●教育振興基金●

前田　吉基…教育振興基金へ

別府　英樹…内田さん、ためになる話ありがとうございました。

●青少年育成資金●

中原八重子…内田さん今日はありがとうございました。第 43 連隊長 谷雅和様,卓話ありがとうございました。

●周年準備資金●

内田建太郎…谷連隊長、卓話ありがとうございました。

吉原　信幸…先週の**椿**松会員の 100 回エイジシュート記念ゴルフ大会に参加しました。ありがとうございました。次 150 回を目指して健康で楽しんで下さい。所用で早退致します。

◎今後のプログラム予定

12/7　上期事業報告
12/14　年次総会

	11/30	累　計
ニコニコ BOX	10,000	126,700
ゴールド BOX	2,510	34,647
ロータリー財団	5,000	$750
ポリオプラス	0	3,000
米山奨学会	3,000	162,000
教育振興基金	2,000	182,000
青少年育成資金	2,000	21,000
周年準備資金	4,000	21,000

雑誌会報・インターネット・広報委員会

委 員 長　：盛田　祐一
委員長補佐　：徳重　幸男
担　　当　：大西　和博 横山真希子
木下マリセル小田　浩司

□本日のプログラム

【自衛隊連隊長をお迎えして】

プログラム
　山村　委員長　挨拶

陸上自衛隊都城駐屯地
　谷　連隊長　　卓話

１　全　般

○　ロシアの「特別軍事作戦」に対し、国際社会は結束して対応

今般のロシアによるウクライナ侵略は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法と国連憲章の深刻な違反であり、このような力による一方的な現状変更は、欧州のみならず、アジアを含む国際秩序全体の根幹を揺るがすものである。また、ウクライナ各地においてロシアによる残虐で非人道的な行為が明らかになっているが、多数の無辜の民間人の殺害は重大な国際人道法違反、戦争犯罪であり
断じて許されるものではない。

国際社会は、このようなロシアによる侵略に対して結束して対応しており、各種の制裁措置などに取り組むとともに、ロシア軍の侵略を防ぎ、排除するためのウクライナによる努力を支援するため、防衛装備品等の供与を続けている。ウクライナ侵略にかかる今後の展開については、引き続き予断を許さない状況にあるが、我が国としては、重大な懸念を持って関連動向を注視していく必要がある。

２　侵略に至る経緯・要因

○　ＮＡＴＯの東方拡大

１９９１年のソ連解体以降、ポーランド、チェコなどの中・東欧諸国は、欧州統合に参加するため、また、歴史的経緯も踏まえ、自国の独立と安全を確保する観点から、ＮＡＴＯ加盟を希望した。しかし、ＮＡＴＯは、ロシアとの協調を重視する立場から、中・東欧諸国のＮＡＴＯへの即時加盟には消極的であった。ＮＡＴＯは新たな協力枠組みとして、１９９４年に平和のためのパートナーシップ（ＰｆＰ）を発表した。ＰｆＰには、他の中・東欧諸国に先駆けてウクライナが参加したほか、ロシアも参加した。

１９９９年、ＰｆＰに基づき、ＮＡＴＯとの相互運用性を向上させたポーランド、チェコ及びハンガリーがＮＡＴＯに加盟し、いわゆる「ＮＡＴＯの東方拡大」が始まった。

○　２０１４年のロシアによるクリミア「併合」

ＮＡＴＯの東方拡大以降もロシアとＮＡＴＯは空軍共同演習を実施するなど、２００８年のロシア・ジョージア紛争後の一時期を除き基本的には協力関係であったが、２０１４年２月ウクライナにおける政変と同時に、ウクライナ南部のクリミア自治共和国では、ロシア軍とみられる武装勢力が、同共和国の地方政府庁舎と議会の建物を占拠するとともに、空港やウクライナ本土に通じる幹線道路、主要なウクライナ軍の施設などを掌握した。クリミア自治共和国を事実上支配下においたロシアは、同年３月、同共和国における「住民投票」の結果を受けてクリミアを違法に「併合」した。

○　２０２１年春以降の軍事的緊張

今般のウクライナ侵略が行われる約１年前の２０２１年３月から４月にかけて、ロシアは、ウクライナ国境周辺及び違法に「併合」したクリミア半島において、多数の兵力を集結させ、同半島における着上陸・対着上陸対抗演習を含む大規模な演習を実施し

た。同年３月下旬以降、ロシア国防省は南部軍管区及び西部軍管区における戦闘準備態勢検閲の実施状況を順次公表し、４月２２日に終了を発表するまでの間、地域における軍事的緊張が高まった。

３　ウクライナ侵略の経過と見通し

○　経　過

●　ロシア

ロシアによる侵略に至るまでの背景としては、ＮＡＴＯの東方拡大に対する脅威認識をはじめとする政治的な要因が指摘されている。

しかし、一方でロシアがウクライナ侵略を決断した直後の契機としては、より軍事的な要因も指摘されている。クリミア「併合」の成功体験を踏まえ、ウクライナの抵抗意思及びウクライナ軍の能力に関する楽観的な見積もりを有していた可能性や、これまでのプーチン政権下で機構改革や近代化を進めてきたロシア軍の能力向上に対する自信を深めていたことなどの要因があると考えられる。

侵略開始当初、ロシア軍は、航空優勢を確保しないまま複数正面において同時に地上侵攻を開始するとともに、軍種間の統合運用の欠如により連携が不足し、地上部隊の分散及び逐次投入を招き、このことがウクライナ軍、国境警備隊などによるロシア軍部隊の各個撃破をもたらし、ロシア軍の士気を低下させた。

●　ウクライナ

ウクライナ軍は、強固な対抗意思に加え、今後もＮＡＴＯと連携するとともに、各国の支援を得て、反撃を継続するものと考えられ、ウクライナ軍が奪還しつつある地域もみられることも踏まえれば、戦闘が長期化する可能性が指摘される一方で、ウクライナ側が徐々に反転攻勢を行っていく可能性もある。

○　見通し

今般の侵略を通じ、ロシアは大きな損害を被っているとみられ、軍事力の果たす役割を重視し、軍事力を背景として国際社会における自らの発言権を確保することを企図してきたロシアの今後の中長期的な国力の低下や周辺地域との軍事バランスの変化が生じる可能性がある。特に、ベラルーシやカザフスタンといった集団安全保障条約機構（ＣＳＴＯ）を構成する地域への影響力の保持・確保にさらに務めるとともに、米国への対抗などの安全保障面における共通性を持つとみられる中国との関係をさらに深化させる可能性がある。また、ウクライナ侵略によって生じた通常戦力の損耗が回復するまでの間、ロシアが抑止力としての核戦力を重視する姿勢をさらに強める可能性もある。